

「札内川ダム20周年記念講演会」を開催！

～札内川ダムの役割を知ってもらい、今後の活用について考えます～

帯広開発建設部 帯広河川事務所 札内川ダム管理支所では、札内川ダムが平成11年に運用が開始されてから、今年で20周年という節目を迎えたことを記念して、「札内川ダム20周年記念講演会」を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

本講演会は、7月1日に開催したダム見学会に続いて、札内川ダムの建設時の状況、札内川ダムの管理の話などを通して、札内川ダムの役割を深く知ってもらうとともに、近隣の関係者の方から地域振興や景観についてご講演いただき、今後の札内川ダムの活用に生かしていくことを目的として開催するものです。

記

- 1 日 時：平成30年11月29日(木) 18:00～19:30
- 2 場 所：中札内文化創造センター 視聴覚室(中札内村東4条南6丁目1-3)
- 3 講演内容：(1) 札内川ダムの着工当時を振り返って
(2) 札内川ダムの役割
(3) アウトドア聖地を目指して ～十勝の地域創生～
(4) 中札内村の景観資源について
- 4 参加費：無料
- 5 その他：(1) 詳細は別紙をご覧ください。
(2) 札内川ダムについては、帯広開発建設部ホームページをご覧ください。
(http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/obihiro_kasen/ctll1r0000000biu.html)

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部 電話(ダイヤル) 0155-69-4666

帯広河川事務所 札内川ダム管理支所 支所長 かくた しんいち 角田 真一 (内線221)

帯広河川事務所 札内川ダム管理支所 管理係長 いとお なおひと 飯尾 直人 (内線224)

帯広開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/>



札内川ダム 20周年記念講演会

札内川ダムが完成し、ダム管理（平成11年から）に移行して、平成30年で20年目の節目となります。「ダムの建設や役割」、「景観資源としての活用や今後の地域振興のあり方」などについてご紹介し、札内川ダムを知ってもらう講演会を開催いたします。

日時 2018年11月29日（木） 18:00～19:30

場所 中札内文化創造センター 1階 視聴覚室（中札内村東4条南6丁目1-3）

参加費
無料

札内川ダムを
もっと知りませんか!

※当日、会場にてパネルも展示しております。

18:00～18:30

「札内川ダムの着工当時を振り返って」

講演者：神保 正義（札内川ダム、調査・建設事業所 2代目所長 : 昭和59～62年度）

18:30～18:45

「札内川ダムの役割」

報告者：吉田 晃啓（帯広開発建設部 次長）

18:45～19:00

「アウトドア聖地を目指して ～十勝の地域創生～」

講演者：野原 立（スノーピーク 十勝ポロシリキャンプフィールド アドバイザリースタッフ）

19:00～19:30

「中札内村の景観資源について」

講演者：金澤 和彦（中札内村景観まちづくり 委員会 委員長）



神保 正義

(株)中山組 専務執行役員
経歴
札幌市生まれ
2007年 北海道開発局 事業振興部長
2009年 石狩川振興財団 理事長として気象予報士の知識も活かし、川を軸とした活動、地域振興に貢献
※ 気象予報士、技術士(総合技術監理、建設)



野原 立

スノーピーク 十勝ポロシリ キャンプフィールド アドバイザリースタッフ
経歴
東京都生まれ
2012年 東京消防庁に入庁しレスキュー隊員として活躍
2017年 学生時代の山登りをとおし「自然が持つパワー」に感銘していたこともあり、スノーピークに入社



金澤 和彦

デザイン工房・金澤 代表
経歴
茨城県生まれ
1995年 東京に勤めていた時に、十勝の風景に出会い、豊かな自然環境や美しい景観の中で生活するため北海道に移住
2005年 森に囲まれた中札内村に住まいを構え、村の景観に対する取り組みを行う

主催：国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部

後援：中札内村

お問合せ：国土交通省 北海道開発局 帯広河川事務所 札内川ダム管理支所 〒089-1374 中札内村南札内735-2 TEL(0155)69-4666

アクセス方法

会場：中札内文化創造センター 1階（視聴覚室）



中札内文化創造センター（外観）



住所：中札内村東4条南6丁目1-3
電話番号：0155-67-2929

中札内文化創造センター
1階 平面図

